

令和7年12月1日 区民生活常任委員会（速報版）

午前十時開議

○平塚けいじ委員長 ただいまから区民生活常任委員会を開会いたします。

---

○平塚けいじ委員長 本日は、報告事項の聴取等を行います。

それでは、1報告事項の聴取に入ります。

○令和七年度一般会計補正予算（第四次）について〔当委員会所管分〕について、理事者の説明を願います。

○和田烏山総合支所長 令和七年度一般会計補正予算（第四次）につきまして、当委員会所管分を御報告いたします。

各部より資料、補正予算（案）概要の右上ページ番号七ページの一般会計部別一覧等を基に御説明いたします。

八ページ以降に各歳出事業の概要を掲載しておりますので、当委員会該当部分について後ほど御説明いたします。

まず、私からは、烏山総合支所の補正予算について御説明いたします。

一〇ページ、繰越明許費補正の表中1を御覧ください。これは、烏山総合支所発電設備設置工事が年度内に終了しないため、繰越明許費として計上するものでございます。

私からは以上でございます。

○渡邊生活文化政策部長 私からは生活文化政策部の補正予算について御説明いたします。

七ページを御覧いただきたいと思います。補正額は八千六百万円です。個別事業の補正内容につきましては、次のページ、八ページの記載のとおり、キャロットタワー中層棟二階内装改修及び中長期保全改修でございます。

続きまして、一一ページ、債務負担行為補正の2、追加の表中、1を御覧ください。これはただいま御説明いたしました文化生活情報センター（キャロットタワー中層階）改修工事の支払いの期間が長期にわたるため、債務負担行為として計上するものでございます。

私からは以上でございます。

○長谷川スポーツ推進部長 私からはスポーツ推進部の補正予算について御説明をいたします。

一〇ページでございます。一〇ページの繰越明許費補正の表中、2を御覧ください。こちらは尾山台地域体育館トイレ改修実施設計が年度内に終了しないため、繰越明許費として計上するものでございます。

私からは以上でございます。

○五十嵐経済産業部長 私からは経済産業部の補正予算について御説明いたします。七ページを御覧ください。

補正額は二億五千七百万円です。個別事業の補正内容につきましては、八ページに記載のとおり、せたがやPayを活用した物価高騰対策の実施でございます。

補正予算の説明は以上でございます。

○平塚けいじ委員長 ただいまの説明に対し御質疑がありましたら、どうぞ。

[「なし」と呼ぶ者あり]

---

○平塚けいじ委員長 次に、ラグビーチーム「リコーブラックラムズ東京」との連携取組みについて、理事者の説明を願います。

○田中スポーツ推進課長 それでは、ラグビーチーム「リコーブラックラムズ東京」との連携取組みについて御説明いたします。

本件は、本日開催の企画総務常任委員会との併せ報告になります。

このたび、職員の提案型プロジェクトチーム制度において、リコーブラックラムズ東京との連携した取組を行うことから、スポーツ推進部より区民生活常任委員会においても御報告するものです。

1の主旨でございます。今年度、スポーツを通じた地域活性化や区の魅力発信等を行うため、世田谷区をホームタウンとするラグビーチームリコーブラックラムズ東京とのさらなる連携の推進を目的に、庁内から職員を募集し、一定期間活動を行う提案型プロジェクトチーム制度においてブラックラムズPTを設置し、活動を行っております。

世田谷区とチーム保有企業である株式会社リコーは、地域の活性化を図ることを目的として、相互連携・支援協力に関する協定書を令和二年に締結しております。ブラックラムズは、朝の通勤・通学の見守り隊や小中学校ゲストティーチャー、いきいき講座・健康講座等、年間二百を超える地域貢献活動を実施するとともに、本年九月には区との間で災害対策における協力体制に関する協定書を締結するなど、様々な区施策に協力をいただいているところです。

今般、チームが所属するジャパンラグビーリーグワン二〇二五一二六シーズンに合わせて、ブラックラムズ東京との連携した取組を実施することについて御報告するものです。2のブラックラムズとの連携取組みについて、三点御説明します。

まず、③の区役所ブラックラムズデーです。①に記載の本日から今月十二日までの期間において、実施機関につきましては本庁舎、総合支所、まちづくりセンター、図書館、児童館などとなります。

③の実施内容としましては、シーズン開幕に向けて本庁舎東棟スペース、名誉区民の掲示前のスペースですけれども、明日より展示を実施します。これらの展示のほか、窓口等でのポスター掲示、グッズの設置を行います。

二ページにお進みください。写真でポスターと窓口設置のグッズをお示ししております。

続きまして、④中央図書館展示コーナーにおける展示です。

④の実施日は、年明け一月三日から二月二十六日までの期間、実施場所は中央図書館の一階展示コーナー、実施内容としましてはチームの紹介や地域貢献活動の様子の紹介、「みる」スポーツへの関心促進としてスポーツ観戦やラグビーに関する本の展示などを行います。

続いて、⑤「ラグビーフェスティバル～世田谷区×ブラックラムズデー～」の実施です。実施は来年の二月七日十時から十六時の予定で、会場は駒沢オリンピック公園総合運動場中央広場、③の実施内容としましては、陸上競技場で開催されるブラックラムズのホストゲームに合わせて、隣接する中央広場でイベントを実施します。リーグワンの本格的な試合を見る機会の創出と区内外からの来場者が世田谷区を知る機会として、ラグビ一体験コーナーとステージイベント、行政PRコーナー、世田谷みやげの出店などを行います。

3の今後のスケジュールにつきましては記載のとおりとなります。

三ページにお進みください。参考として、ブラックラムズ東京がどのようなチームかを紹介するとともに、主な地域貢献活動の様子も掲載しております。

一つ目の朝の通勤・通学の見守り隊は、月二回、火曜日に実施されています。

二つ目の区立小中学校ゲストティーチャーには、平成二十八年から取り組まれており、今年一月時点で受講した児童生徒数が累計で二万人に達しています。

三つのいきいき講座・健康講座では、ラグビーボールを使って高齢者が無理なく体を

動かすことができる軽運動の講座などが実施されております。

すいません。先ほど実施日につきまして、一部中央図書館の展示コーナー、一月三十日からを三日と読み間違えてしまいました。申し訳ございません。

報告は以上です。

○平塚けいじ委員長 ただいまの説明に対し御質疑がありましたら、どうぞ。

○桃野芳文委員 大変楽しみない企画だなと思って説明は聞いておったんですけども、ブラックラムズプロジェクトチームというのを府内に設置して、準備してきたというような説明でしたけれども、このプロジェクトチームというのは、一定期間活動を行うというふうに書いていますけれども、例えば今回、これは一つアウトプットとして出てきたわけだけれども、これで一旦このプロジェクトチームは終わりみたいな形になるのか、引き続き、何か活動が続していくのか、その辺はどうなっているんでしょうか。

○田中スポーツ推進課長 お話の提案型のPTによる活動につきましては、今年度末と一旦期間を区切ってということなんですが、PT内での実施効果などを検証した上で、次年度以降の可否などについて、主管している政策経営部とスポーツ推進課で協議しながら進めたいと思います。

○桃野芳文委員 もちろん、従来のルーティンワークがあって、それと別にいろいろ企画をつくっていくということを職員の皆さんができるということなので、大変なお仕事なんだろうなとは思うんですけども、リコーとは、親会社とは包括連携協定を結んで、世田谷区とは末永く様々な取組をやっていきましょうねというような位置づけになっているわけですから、今回のこのアウトプットは、これはこれでいいなと思うんですけども、ぜひとも継続的に検証していきながら、アウトプットはどうだったのか、アウトカムはどうだったのか検証していきながら、こういうPTも工夫しながら、ぜひ末永く続けていただきたいなというふうに要望いたします。

---

○平塚けいじ委員長 次に、㊀第三十九回全国健康福祉祭（ねんりんピック）東京大会について、理事者の説明を願います。

○田中スポーツ推進課長 それでは、第三十九回全国健康福祉祭（ねんりんピック）東京大会について御説明いたします。

1の主旨でございます。東京都は、十月三十日に令和十年開催予定の第三十九回全国健康福祉祭東京大会の基本構想（素案）を公表しました。当区においてソフトテニスの大会

が実施されることが示されたため、本構想に基づく大会概要等について御報告するものです。この大会は、高齢者を中心とする国民の健康保持増進、社会参加、生きがいの高揚を図る観点から、おおむね毎年、都道府県が持ち回りで開催するものです。

2 の大会会期は、令和十年（二〇二八年）十一月三日から六日でございます。

3 主催は、厚生労働省、東京都、一般財団法人長寿社会開発センターでございます。

4 の大会概要でございますが、スポーツ交流大会、ふれあいスポーツ交流大会、文化交流大会が都内の三十七自治体において実施される予定です。

5 の区で行われる種目ですが、ソフトテニスでございます。

交流大会につきまして、資料の一二ページの（参考）交流大会の実施区市町村を御覧ください。こちらは、各自治体で行われます交流大会の一覧となっておりまして、各区市町村でそれぞれの種目が実施の予定となっております。

一ページ目にお戻りください。

6 のその他でございますが、区は令和十年度の開催に当たり、今後、実行委員会を設立し、競技運営等を行うため準備を進めてまいります。

説明は以上となります。

○平塚けいじ委員長　ただいまの説明に対し御質疑がありましたら、どうぞ。

○桃野芳文委員　多分資料を読み込めば分かると思うんですが、今の今なので載っていることを聞いてしまうかもしれないんですけども、ねんりんピックというのは、高齢者を中心とするイベントということだと思うんですけども、イメージとして何歳以上の方がどれぐらいの規模で、例えば人数だとか、どれぐらいの大会の感じというふうにイメージすればよろしいのでしょうか。

○田中スポーツ推進課長　これまで行われた大会の内容でございますが、参加する選手の方は六十歳以上で、これまで行われた直近の大会で、おおむね参加者も含めて見に来られる方とかで五十万人ぐらいが一応参加するというような大会になっていると確認しております。

○桃野芳文委員　あと、種目を見ると、カラオケとか絵手紙とか、割と幅広くスポーツ以外の種目があるじゃないですか。面白いなと思ったのは、高齢者の大会なのに——なのにと言ったら失礼に当たるかもしれませんけども、e スポーツだとか、サーフィンだとか、そんなものも入っていて面白いなと思って見ていましたんですけども、種目は、例えば自治体からの何か希望というか、こういうことをやりたいとかというのをやり取りしながら

ら決めていくというような仕組みはあるんでしょうか。

というのは、狛江市はお隣なのでよく目にしますけれども、絵手紙は結構自治体を挙げて、狛江は絵手紙発祥の地なんですよと一生懸命プロモーションしているじゃないですか。そういうプロモーションとも何かうまく戦略的にやっているのかなという気もするんですけれども、その辺、どうなんですか。世田谷区は言われたからソフトテニスかなぐらいいの感じなのか、どういう仕組みになっているんでしょうか。

○田中スポーツ推進課長 こちらの競技につきましては、副委員長のおっしゃるとおり、東京都と協議しながら、東京都のほうで決定してまいりましたが、その中で都がソフトテニスを検討したのも、前回、国体で世田谷区はやはりソフトテニスを実施しましたので、その中身が今回の決定につながってきたのかなと思いますので、そこは世田谷区もお話しをしながら、こちらのほうは決定していったものです。

○桃野芳文委員 次に、このねんりんピックがどういうタイミングで東京で行われるかというのを分かりませんけれども、ぜひ世田谷区としても戦略的にやるといいんじゃないかなというのは、eスポーツなんかは特に議会からも、私は発言したことがないけれども、eスポーツがいいのではないかということで声が上がっていたりということがあるじゃないですか。

あと、種目を見ると、これはどういうスポーツなのかな、聞いたことがないなというのも含まれていて、逆に言うと、いい情報発信の場になると思うんですよね。なので、世田谷区もうまく、そういうふうに使っていければいいのかなというのを思ったので、御検討いただければと思います。

○河野俊弘委員 今、副委員長のほうからいろいろな種目に対しての御発言もありましたけれども、例えば世田谷区以外の競技に対して、これは世田谷区民が参加するというわけではないですか、その確認です。

○田中スポーツ推進課長 こちらの参加は、各都道府県の代表の方が恐らく参加されるというような大会になると思いますので、そちらの大会を実施するに当たって、また、区のほうにも募集など、もしかしたら予選とかもあるかもしれませんので、情報提供があると思いますので、そのときにはまた共有できるようにはしたいと思っております。

○河野俊弘委員 先ほどeスポーツの話もありましたけれども、各都道府県代表ということで、世田谷区としても、こういう方が出ているんだとかという情報を、ぜひともこちら側も欲しいですし、そういったところで高齢者の方でも、こういったスポーツに触れ合え

るんだということを広く発信してほしいと思いますので、ぜひそういった情報も今後出していただきたいと思います。

○原田竜馬委員 令和十年度の開催に向けて、これから実行委員会が組まれていくということなので、まだ詳細はこれからというところかと思うんですけれども、参加される方は各都道府県の代表というふうなことで、六ページの大会目標の3に「スタートアップ企業をはじめ、多様な業種・分野の企業が集積する東京の強みを活かし」ということで「デジタル技術や先端技術の可能性を実感できる大会」というふうに書いてありますけれども、この企業というのは、世田谷区も会場になるということでございますので、例えばホームワークビレッジが新しくできて、そこに先端企業が入っているかどうかというのはちょっと分からぬんですが、スポーツ参加、出る人、見る人だけではない、世田谷区内の企業の関わりみたいなところは、どんな余白とか可能性がありそうだとかということをお考えなのか、教えていただければと思います。

○田中スポーツ推進課長 こちらは現在は東京都のほうから情報を公表されていますが、原田委員がおっしゃるとおり、これからいろいろな調整をしていくと思いますので、ここに書かれているところの関わり、世田谷区もどのようなことで、大会自体は種目としてソフトテニスにはなっておりますが、ほかの部分でどのような関与ができるかというのは適宜確認しながら、また情報を共有させていただきたいと思います。

○原田竜馬委員 大会目標の2には、出場される方は高齢者というふうに書いてありますけれども、子どもから高齢者まで幅広い世代が交わることだとか、大会を行うに当たって、かなり多様な主体が関わる余地、可能性があるのかなと思いますので、そちらはぜひ様々可能性を追求いただければと思います。要望です。

---

○平塚けいじ委員長 次に、その他ですが、何かございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○平塚けいじ委員長 特になれば、以上で1報告事項の聴取を終わります。

---

○平塚けいじ委員長 次に、2資料配付ですが、お手元の資料のとおりですので、後ほど御覧ください。

---

○平塚けいじ委員長 次に、3請願の継続審査についてお諮りいたします。

令五・一五号「消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める意見書を政府等に提出することを求めることに関する陳情」外二件を請願の継続審査とすることに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○平塚けいじ委員長 御異議なしと認め、そのように決定いたします。

---

○平塚けいじ委員長 次に、4閉会中の特定事件審査（調査）事項についてお諮りいたします。

- 1: 区民生活について
- 2: 市民活動及び男女共同参画について
- 3: 産業振興について

とすることに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○平塚けいじ委員長 御異議なしと認め、そのように決定いたします。

---

○平塚けいじ委員長 次に、5協議事項に入ります。

○次回委員会の開催についてですが、次回委員会は年間予定である十二月十八日木曜日午前十時から開催したいと思いますが、よろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○平塚けいじ委員長 それでは、次回委員会は十二月十八日木曜日午前十時から開催することに決定いたします。

以上で協議事項を終わります。

---

○平塚けいじ委員長 その他、何かございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○平塚けいじ委員長 特にならないようですので、以上で本日の区民生活常任委員会を散会いたします。

午前十時二十一分散会

---